

2019年12月25日

一般社団法人日本木材学会中国・四国支部
会員 各位

一般社団法人日本木材学会中国・四国支部
第31回(2019年度)研究発表会実行委員長
吉原 浩

電子版研究発表要旨集についての意見募集(お願い)

謹 啓

歳末ご多忙の折、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

今秋9月に開催いたしました第31回(2019年度)研究発表会へは、遠路より松江まで多数ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。会期中には不行き届きもあったかと思いますが、皆様のご協力により盛況に開催できましたことを主催者を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、本研究発表会における研究発表要旨集につきましては、従来の冊子版から電子版(支部ホームページからのファイルダウンロード形式)へすることの試行を行いました。その主な理由としましては、

- (1) 学会年次大会では電子版要旨集が導入されている
… 支部会員の多くにとっては既に経験されていることであり、混乱は生じないと想定される
- (2) 冊子版発行に係る経費(印刷費)が不要となる
… 冊子体印刷費は8・10万円と高額であるが、これを無くすことにより支部研究発表会の支出を大きく削減できる。また、支部会計からの補填(赤字の際の不足分持ち出し)が不要となり、支部会計への負担を無くすることができる。
- (3) 上記(2)に関連して、参加費の減額が見込める
… 冊子版廃止に伴う黒字相当分については、参加費の値下げを行うことができ、これにより支部会員への還元を行うとともに、参加者増が期待できる

などです。これらの理由を基に、「第31回(2019年度)研究発表会における研究発表要旨集は、冊子版を発行せず、電子版のみの発行とする」ことについて、大谷前支部代表へ打診を行ったところ、ご理解とご承認を得た上で試行いたしました。

実際に試行した結果ですが、上記(1)については、閲覧やダウンロードにおける問題報告はなかったものの、参加者の一部からは取り扱いの容易さから冊子版を望む声も聞かれました。同(2)および(3)については、参加費を一般・学生共に前年度から1,000円値下げすることができ、また支部会計からの補填も不要となりました。

これらに加えて、研究発表要旨集の編集においても、印刷所との間での作業(出稿、校正、印刷など)が不要となったため、実行委員会では時間的および精神的な余裕をもって対応することができました。

以上の通りですが、あくまでも試行としての電子版発行としておりましたので、改めまして皆様のご意見を伺いたくお願いする次第です。なお、来秋に徳島県にて開催されます第 32 回(2020 年度)支部研究発表会におきましても、本年度と同様に電子版発行を検討しており、本年度の試行に対する皆様のご意見を参考にすることです。

つきましては、電子版研究発表要旨集へのご意見を

第 31 回(2019 年度)研究発表会実行委員会 E-mail: jwrscs2019@gmail.com

へお寄せいただきますようお願い申し上げます。記載形式は自由ですが、賛否に対する理由も添えていただくと大変参考になります。また、今後の研究発表要旨集の在り方については、従来の冊子版への復帰、電子版への全面移行などを検討していくこととなりますが、その他の案につきましてもご自由にご提案いただければと思います。

お寄せいただきましたご意見につきましては、取りまとめた上で総会等のご報告させていただきます。その際には、個人が特定されるようなことがないよう取り扱いには十分に留意いたしますことを申し添えます。

以上、電子版研究発表要旨集についての意見募集をお願いいたします。お取り扱いのほど、よろしくお願い申し上げます。

年末年始に向けては寒波到来との予報も流れております。風邪等にはお気を付けいただきまして、どうぞ良いお年をお迎えください。

謹 白